

第7回学生チャレンジ企画書（卒業生向け）

企画名称	拓大つながりプロジェクト～知れば知るほど好きになる～
目的	<p>私は、これまで東南アジアや世界中で活躍されている拓殖大学の卒業生を訪問し先輩方の生きた建学の精神を学ぶ機会を頂けた。海外雄飛された先輩方からの気づきは、私一人の国際感を高めただけではなく、大学全体の国際交流活動に大きな影響と、国際人とは何かの示唆を与えて下さった。</p> <p>【拓殖大学の現状】 多くの現役生、特に部活やサークルに属していない学生は学友会や先輩方との繋がりや、拓殖大学の創立以来受け継がれてきている「人種の色と地の境、我が立つ前に差別なし」という国際人への感覚を養う場が少ないように感じる。</p> <p>私たちは、今回の企画が「これまで116年の世界に貢献してきた先輩方の熱い想い」を「未来の国際人を目指す現役の拓大生」に渡す”かけ橋”となることを目指す。“つながり”を通して「国際人」とは何か。という問いを考える場を作ると共に、2020年に120周年の節目を迎える拓殖大学を”実績のある国際大学”のパイオニアとしての存在感を高めた大学として、世界で注目されることを目標とする。</p> <p>【具体的な活動】 ①卒業生訪問 15人インタビュー ②インタビュー動画・校歌PVの作成 ③紅陵祭で発表 卒業生と現役生のつながりで未来を切り拓こう！</p>
期待される成果	<p>【企画を通じて得られる効果】</p> <p>○卒業生</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現役学生と母校とのつながりを持つことで、より充実した活動の発展へとつながる。 2. 先輩方のご活躍されている業種や、そのお仕事をやることになった経緯を伝えることで現役生に活力を与える。 <p>○現役生</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世代を超えて卒業生とのつながりを持つことで、新たなチャレンジ精神や、拓大生としての誇りをもつ。 2. 卒業生のお話を通して新たな視野や、活動域を広げることで充実した学生生活を送る。 <p>【未来の拓大】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際大学のパイオニアとして、拓大のイメージ向上をはかり、さらなる国際人の育成につなげる。 2. 校歌PVを通して拓大に親しみを持ってもらい建学の精神への理解と認知を深める。

実施期間	平成 28年 7月 4日 ~ 平成 28年 10月 22日
------	-------------------------------

活動計画の内容

「計画の概要」「手順と手法」「実施スケジュール」の3項目を記載してください。

【計画の概要】

インターネットや本だけで調べるのではなく、拓殖大学が建立してから今まで卒業してきた先輩方にお話を直接聞くことで卒業生と現役生とのつながりを築く。拓殖大学がどんなふう成長を遂げ今があるのかを学び、考えることで、拓大の精神を引き継ぎそれぞれの人生に活かせるようにつなげていく。

OB・OG、15名に対してインタビューを行い、記事と写真でまとめる。また、そのうち5人を抜粋しそれぞれ5分程度のインタビュー動画をまとめる。

【実施スケジュール】

- ・ 7月4日(月)～8日(金)：現役生インタビュー 約20名
(国際交流愛好会、アジア研究会、インドネシア研究会)
→今の拓大で思うこと・拓大の良さ・これからの夢・卒業生に聞きたいこと
- ・ 7月11日(月)～15日(金)：現役生インタビューまとめ
→訪問先スケジュールの作成・インタビュー内容の作成
- ・ 7月18日(月)～9月10日(土)：OB・OGインタビュー 約15名
→夏休みを利用して様々な地域にいる方の話を聞く、校歌PVのこま撮り
- ・ 8月15日(月)～10月1日(土)：校歌・PV作成
→夏休みの動画編集
- ・ 10月1日(土) 紅陵祭に向けての準備①
- ・ 10月8日(土) 紅陵祭に向けての準備②
→やってきた活動の発表。拓大の歴史・今を伝え、未来を目指すことを伝える
 - ・ 10月21,22,23日(金・土・日)：紅陵祭(展示)(1)インタビュー結果の展示
(2)動画視聴ブース
(3)現役生×卒業生 交流ブース

[予定している訪問先]

(日本国内) 学友会には学友会への訪問許可を頂きました

- 7月9日(土) 北海道連合会創設60周年学友大会@札幌
- 8月6日(土) 宮城県支部創立70周年総会@仙台
- 8月14日(日) 徳島学友会 阿波踊り
- 15日(月) 淡路島 永田秀二郎(拓大第4代総長) お墓参

(国外) 留学や旅行で海外訪問をしている学生が訪問国にいる卒業生を訪問

8月31日～9月13日 インド 拓殖大学麗澤派遣団にてOB・OG訪問